

第6学年 総合的な学習の時間（ウミネコ学習）学習指導案

日 時	平成16年10月15日（金）5校時
対 象	6年1組 男13名 女9名 計22名
指導者	伊東 暁子
場 所	6年1組教室・ホール

- 1 単元名 「未来予想図Ⅱ」 ～今、自分たちにできること～
- 2 単元について

（1） 単元設定の理由

子どもたちはこれまで6年間、『ウミネコ学習』（生活科・総合的な学習の時間）を通して、船越の地域について学習し、様々な体験をしてきた。船越地区の自然、漁業、福祉の実態などを調べる中で、船越地区の素晴らしさを実感することができた。また、6学年の1学期には、盛岡と船越を様々な観点で比較しながら、船越を見つめ直し、さらによくするための方法を考えてきた。

そこで、本単元では、6年間のウミネコ学習のまとめとして、この船越の未来のために『今、自分たちにできること』を考え、それを実際に行ったり、発表して多くの人に広めたりする。このような活動が子どもたちに、船越を愛し、自分たちの未来をよりよいものにしていこうとする心情を育てるものとする。そして、今までウミネコ学習で船越の地区や人々との関わりの中で身につけた学び方や物の考え方、各教科で身につけた知識や技能を生かして、船越の将来や自分の生き方について考えさせたい。

（2） 児童の実態

子どもたちは、低学年のときから『ウミネコ学習』を通して、磯の生物を採集して飼育観察したり、磯探検で疑問に思ったことをテーマ別にグループで調べたりする活動を経験してきた。3年生では海の生き物調べ、4年生では海藻調べ、5年生では、1学期に「それいけ わくわく探検隊 船越の山で遊ぼう」、2学期に「進め どきどき調査隊 船越の海を考えよう」という単元の学習に取り組んだ。

「それいけ わくわく探検隊 船越の山で遊ぼう」では、船越の山の自然に触れ合う活動を行ってきた。また、「進め どきどき調査隊 船越の海を考えよう」では、船越の漁業について水揚げが一番多い鮭漁を中心に調べ活動を行った。その中で船越の漁業の現状と問題点に気づき、その問題点を解決するために自分たちにできることを考え、追求してきた。子どもたちは実体験を通して、それぞれ自分たちの課題について工夫しながらまとめることができた。そして、自分たちの住んでいる船越の素晴らしさを知ることができた。

これらの活動を通して、体験的な活動に意欲的に取り組み、多様な追求活動や表現の工夫など自分たちで方法を選択しながら、活動できるようになってきている。6学年1学期には、船越をよりよくするために盛岡との違いを調べる活動を修学旅行の自主研修で行った。「インタビュー名人」を目指し、課題を解決するために重要なインタビューの仕方などを確認しながら追求活動を行った。自分たちの力で調べ、インタビューができたことで、子どもたちは、自分たちの活動に自信を持って今まで以上に積極的に取り組むようになった。

（3） 活動の構想

単元全体を通して、地域の自然や人々とふれあい、体験的な活動を十分保証できるよう、教師間の指導体制、関係諸機関への連絡、保護者との連携をしっかりと図っていく。また、子どもたちの様子や気持ちを把握し、一人一人への支援が十分に行えるよう、学習カードなどを工夫する。そして、単元終了後、再び学習カードを振り返り、自己の変容に気づけるようにする。また、各段階における『振り返りの時間』を有効に活用し、自分たちの活動や成長を確認しながら、次時への活動の意欲や自信を持たせるようにしていきたい。

「つかむ」の段階では、地域で活躍しているGT（ゲストティーチャー）から、現在、地域をよりよくするために実践していることや努力していることなど生の話を聞くことで、自分たちが実際にできそうなことについてイメージをもたせたい。そして、1学期に盛岡と比較して考えたことやGTの話からどんなことができるのか考え、それを実行していくための課題・計画を立てる。その際、あらかじめ子どもたちから出されそうな課題について予測し、どのような活動をさせればよいか教師が把握しておく。また、計画を立てる場面では、個やグループとの対話を大事にして、単元

を通して考えられる課題を設定させたい。「つかむ」段階の振り返りでは、グループの課題がテーマとあっているか、活動の計画や内容がこれでよいかについて自己評価したり、お互いに意見交換したりする。必要に応じて修正を加えることで、自信をもって「追求」の段階に進むことができると考える。

「追求する」段階では、図書や資料・インターネットを活用したり、フィールドワークで地域を調査したりするなど、状況を判断しながら問題解決に取り組み、自分の課題を解決する力を伸ばしていく場とさせたい。「追求する」段階での振り返りは、グループで調べたことに対しての意見交換の場とする。その中で自分たちの調べた内容の妥当性を認識したり、足りない部分は2次追求を行ったりしながら、さらに理解を深めさせる。それを経ることによって自信をもって「表す・広げる」段階に進むことができると考える。

「表す・広げる」段階では、今まで行った様々な表現方法を想起させ、調べた内容を発表するために効果的な方法を一人一人が考えられるようにさせたい。また、学級発表会と全体発表会の2回発表の場を設ける。学級発表会はお互いの活動を認め合い、発表の仕方や内容について感想などを交流し合う場とする。全体発表会は保護者や他学級に向けて発表をし、自分たちの考えや思いを広める場とする。そして、単元全体を通しての振り返りでは、本単元を振り返り自分のがんばりや変容について考えたり、友だちのがんばりを認め合ったりし、自他の成長に気づかせたい。さらに、山田町長面談に出席し、自分たちの考えた『船越のよりよい未来』についての提案をさせたい。そのことで、社会『身近な暮らしと政治』の単元で学習する住民の声で地域を変えることができるということを自分たちの活動を通して実感し、より理解を深めることができると考える。

3 単元の目標

【関心・意欲・態度】

- ・ 船越地区（山田町）の未来をよりよくすることに関心を持ち、理想的な町を求めて、進んで活動に取り組むことができる。

【思考・判断】

- ・ 船越地区（山田町）をよりよくする方法を考えながら、自分の生き方を見つめることができる。

【技能・表現】

- ・ 適切な方法で情報を収集し、内容を効果的にまとめ、発表できる。

【知識・理解】

- ・ 船越地区（山田町）の現状から、未来をよりよくするために自分たちにできることを理解できる。

4 単元の指導計画（37時間）

段階	活動内容	教師の支援	評価規準(評価方法) 【関】関心・意欲・態度 【思】思考・判断 【技】技能・表現 【知】知識・理解	身につけたい力 (船小6力)
つかむ (8)	<p>1 オリエンテーション・・・3 ・GTから、「地域をよりよくするために現在実践していることや努力していること」を学ぶ。(2) ・船越の未来をよくするために、実際にできることを考える。(1)</p> <p>2 課題を設定し、計画を立てる。・・・・・・4 (2学期課題)</p>	<p>・話を聞く視点を与える。 (船越をどんな町にしたいか、できそうなことは何か考えながら聞く) ・予め、GTと打ち合わせを行い、話す内容を確認しておく。</p>	<p>【関】テーマと照らし合わせながら、GTの話の聞くことができる。(観察、カード) 【思】自分自身で船越の未来のためにすべき課題を設定できる。(カード)</p>	課題設定能力
	<p>未来予想図Ⅱ ～今、自分たちにできること～</p> <p>・グループ課題を設定し、活動の見通しを持って計画を立てる。(1) ・調べる内容や方法を話し合う。(1) ・手順・方法を考え、日程や見学先など計画を立て、見直し、決定する。(2)</p> <p>3 「つかむ」活動の振り返りをする。・・・・・・1 ・グループ課題を出し合い、活動の計画や内容を話し合う。(1)</p>	<p>・目的意識をはっきりさせながら、課題を設定させる。</p> <p>・各グループの課題をプリントし、評価・アドバイスの材料にさせる。</p>	<p>【思】1学期に学習したことをふまえて、グループの課題を設定できる。(カード) 【思】課題解決に向けて、活動計画を立てることができる。(カード) 【思】見通しを持って、グループ課題や活動内容、方法などを考えることができる。(カード) 【思】他グループへアドバイスしたり、友だちからのアドバイスを参考にしたりできる。(見取り、カード)</p>	思考・評価力
追求する (15)	<p>4 課題解決をするため、追求活動を行う。・・・・・・15 ・課題追求をする。(8) ・グループで調べたことを整理する。(1) ・グループで調べたことを相互に読み合い、評価・質問・アドバイスの準備をする。(1) ・中間発表を行い、グループで相互に評価する。(1) ・2次追求を行う。(4)</p>	<p>・計画をもとに、インタビュー活動など自分たちで行えるように関係機関に事前に連絡しておく。 ・調べて分かったことを随時記録させ、目に見えるようにさせる。</p> <p>・各グループの課題をプリントし、評価・アドバイスの材料にさせる。</p>	<p>【関】課題解決に向けて粘り強く取り組みようとする。(カード) 【技】適切な方法で情報を収集できる。(カード) 【知】船越地区(山田町)の現状を理解している。(カード) 【思】他グループへアドバイスしたり、友だちからのアドバイスを参考にしたりできる。(カード)</p>	問題解決能力 総合された知識 思考・評価力
表す・広げる (14)	<p>5 追求したことをもとにまとめる。・・・・・・7</p> <p>6 発表する。・・・・・・4 ・学級(グループ)発表会をする。(1)《本時》 ・全体発表会に向けて修正・練習する。(1) ・全体発表会をする。(2)</p> <p>7 単元全体を振り返る。・・・1</p> <p>8 船越の未来について提案する。・・・・・・2</p>	<p>・多様な表現方法を想起させ、発表内容に合ったものを選択させる。</p> <p>・振り返る視点を与え、自分や友達の成長を確認できるようにする。</p>	<p>【技】収集した情報を整理し、分かりやすく伝えることができる。(見取り、聞き取り、発表資料) 【思】発表を評価し合い、発表方法や内容を再確認することができる。(カード) 【知】船越地区(山田町)の未来を良くするために自分たちにできることを理解する。(カード) 【思】学んだことやできるようになったことを自分の成長ととらえたり、友だちの長所を認めたりすることができる。(カード)</p>	表現・創造力 自信・成長力

5 本時の指導

(1) 目標

【思考・判断】

- ・ 発表内容や発表方法を確認し、自分の発表に自信をもつことができる。

段階	活動内容	教師の支援と評価	備考
つかむ (5)	1 前時までの活動を振り返る。 2 本時の課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 発表内容や発表方法の良い点や改善点を確認し、発表会に向けて練習しよう </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ペアグループごとに発表会をしたことを振り返る。 	
追求する (30)	3 評価し合ったことをもとに自分たちの発表に生かせることを話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 他のグループの発表の中で、自分たちに生かせること ・ 他のグループに評価されたことで、自分たちが生かせること 4 話し合ったことを生かしながら発表の練習をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 机間指導を通し、状況把握と助言を行う。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>A 自分たちの発表に対して参考になる評価を見つけ具体的にどうしていきたいか考えることができる。</p> <p>B 自分たちの発表に対して参考になる評価を見つけることができる。</p> <p>※ 自分たちの発表に対して参考になることを見つけられない児童には、声かけをして、視点の確認をさせる。</p> <p>※ 自分たちの発表に対して参考になることを具体的に考えられない児童には、グループで交流させ友達の意見を参考にさせる。</p> </div>	学習プリント
まとめる (10)	5 活動を振り返り、まとめる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 今日の活動で気づいたことや分かったこと、自他のよさ、感想などについてカードに書く。 6 次時の予告をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 今日話し合ったことをもとに、全体発表会を行うことを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 記述する際の観点を示したり、これまでの振り返りカードを見させたりする。 	振り返りカード

(3) 評価

【思考・判断】

- ・ 発表内容や発表方法を確認し、自分の発表に自信をもつことができたか。